

モノづくり体感スタジアム 2024

アマダ

板金加工を知ってもらためのプログラムで初出展。まず、ステンレスの板金を使って、ハサミを製作。小さな子どもにとっては少しだけ力が必要な工作も、家族に手伝ってもらい楽々と完成。また、チタンに酸化被膜をつけることで、さまざまに着色したチャームは、シールを使って文字を表現するなど、一人ひとりのオリジナルもの。小学2年生の男の子は「このペンダントはランドセルにつけて、毎日一緒に通学する」と喜んだ。

板金モノづくり体験！ハサミとオリジナルチタングッズを作ろう



THK

リサイクルを身近に感じてもらう、社会課題解決に向けたプログラム。ゴミ箱にペットボトルと金属缶を廃棄する際に投入後自動的に分別される仕組みを学んだ。材質の違いをセンサーが検知し、そのプログラムも子どもたちが組む。参加者は「分別するには工夫が必要だということがわかった」と納得の様子。また、ロボットアーム操作でプラスチック球をつかみ、身体の拡張をバーチャルに実感するなど、同社技術を体験してもらうコーナーも。

リサイクルのための自動分別
ごみ箱をつくらう！

富士ダイス

命を吹き込め！
キーホルダー作りで金型体験！

初出展の富士ダイスは金型で革を抜き金属プレートを加工する、金型の製造工程の一部を体感できるプログラムを開催した。金属プレートに刻印や磨きを行い、型抜いた革とともにキーホルダーを作る。同社はこれまでオープンファクトリーや出前授業は行っていたが、体験プログラムは初の試み。部署一丸となって工程を考案した。参加した小学4年生・女子は「金属を磨く工程が一番楽しかった」とし自作のキーホルダーを喜んで持ち帰った。



みんなで楽しく学ぼう

こども「ちょぼきんばこ」製作教室

野火止製作所

野火止製作所（埼玉県新座市）が2015年から毎回出展している人気の工作ワークショップ「ちょぼきん箱」。貯金箱と募金箱を組み合わせ、コインを入れると転がりながら落ち、視覚的に楽しみながら貯金できる。木材を綿棒を使って接着し組み合わせ、カラーペンやテープなどで自由に装飾する。思い思いのデザインを施し、モノづくりを楽しむ。参加した保護者は「子どもが工作好きでこのプログラムを選んだ」と親子で体感した。



横浜リテラ

紙のリサイクルについて学ぶ。平安時代からの紙リサイクルの歴史や、その方法などについてクイズ形式で子どもたちの興味を惹きつけた。同社はゴミゼロ工場を目指し、森林認証（FSC認証）を得た紙製品を展開している。さらにリサイクル紙を使って、耳の部分が可動の「ばたばたわんこ」を製作。完成後にアニメキャラクター風にカラーリングした矢野央恭さん（小3）は「デザインにもチャレンジした」とモノづくりの楽しさを実感した。

SDGsを考えよう！リサイクル紙を使ったペーパークラフト



作って回そう単極モータ、試してみよう楽しい不思議な電気の実験

電気理科クラブ

生活に身近な乾電池、磁石などを用いた単極モーター製作や「回転するアルミの卵」「大江戸線リニア模型」など10種類以上の理科実験を体験できる小学生向けプログラム。電気学会が認定したメンバーが小中学校を中心に科学の楽しさを知ってもらおうと活動している。モーターの原理を使った実験は同伴した保護者も楽しそうに体験。小学4年生女子のお父さんは「家で動画を参考にモーターを作ろうとしたが失敗。リベンジで良かった」とうれしそう。



会員企業らが視察



トートを自由に彩色

会員企業各社

(五十音順)

